



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
購読料 1カ月5343円+税
電話 東京(03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2018

5月25日
(金曜日)

輝けメカニクス

整備工場の人づくり

(77)

継続検査のワンストップサービス(OSS)がスタートしてから1年が経過した。4月からは継続申請の電子化も始まり、指定整備事業者は保安基準適合証(保適証)サービスへの登録を進めている。ツカサ工業(長野県大田市)は、全国の中でもいち早く継続検査OSSに取り組み始めた事業者の一つ。佐藤憲司社長はその理由について「国の指定工場である以上、しっかりと対応していくべきだから」と強調する。

「継続検査OSSにいち早く取り組んだ」

「長野県自動車整備振興会で継続検査OSSの説明を受けた直後から『これはいざいざ』」

「自分の立場(事業場管理責任者)であればすべてのシステムが使用できる」と感じました。最初はトラブルも多かったが、整備振興会、運輸支局、システム会社にも協力してもらいながら、一つひとつ解決してきたことが理解を深めることにつながった」

「指定整備事業者の中には消極的な姿勢を見せるところもある」

「最初は保適証サービスの電子申請時に、なぜエラーが出るのかが分からないことが多くあった。しかし何度もトライアルを重ねていくと、どいういった時にエラーが出るのかが分かるようになったし、対処方法も分かるようになった。その結果、継続申請の電子化がスタートした時にはスムーズに対応できた」

「整備事業者に向けて継続検査OSSの利便性などを伝えていく」

「システムのことや電子化についていきなり話し始めるのではなく、保適証情報電子版に一本化する方針であることや、2024年にも導入される車載式故障診断装置(OBD)検査を見通せば、指定整

ツカサ工業 いち早く継続検査OSS導入

さとう けんじ 佐藤 憲司社長



「大型特殊車両などの一部にある3段階書き車検証は保適証サービスに対応していない。また、旧自賠責(自動車損害賠償責任保険)が電子なのか紙なのかを識別できる機能も必要なのではないか。また今後、指定工場ですべてを完結するためには、車検証の電子化が欠かせないのでないかと考えている」

(太田 千恵)

車検証の電子化が不可欠

「保適証は公文書のため、本来ミスは許されない。ただ、人が作業するため、多少のミスが出てしまうこともある。電子申請によって、システムでのチェックが入りミスを防ぐことができるようになった。確認時間の短縮にもつながり、他の作業などに使える時間を生み出している」

「継続検査OSS活用のメリットは」

「最初から聞く耳を持っていただけじゃないケースもある。だからまずは『継続検査OSSは2本立てだ』と伝えていく。一つが保適証の電子化を行う『AIRAS』。もう一つが継続申請の電子化を行うOSS申請共同利用システム『AINAS』だ。まずはブラウザ型で保適証サービスの電子申請に慣れたほうが良いと勧めている。さらに、国が保適証情報を電子版に一本化する方針であること

「保適証は公文書のため、本来ミスは許されない。ただ、人が作業するため、多少のミスが出てしまうこともある。電子申請によって、システムでのチェックが入りミスを防ぐことができるようになった。確認時間の短縮にもつながり、他の作業などに使える時間を生み出している」

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。